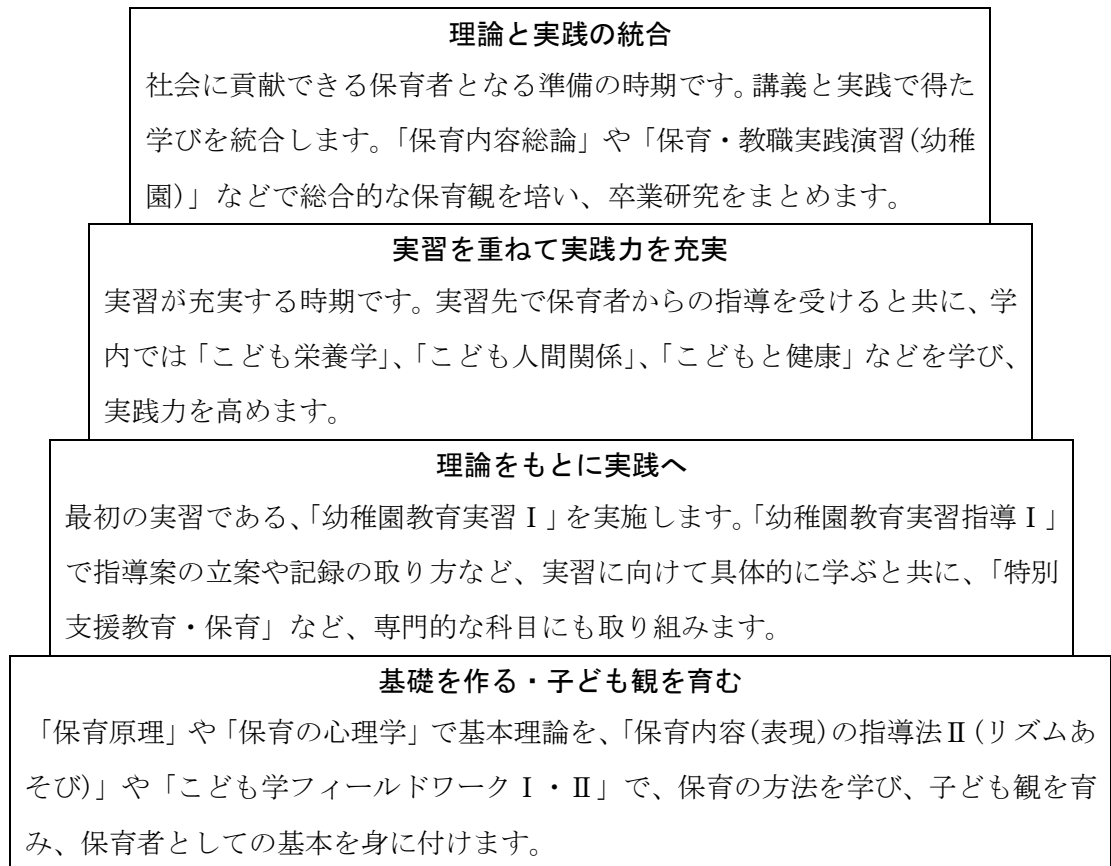


令和3年度入学生 こども学専攻 履修モデル

こども学専攻は、幼稚園教諭二種免許状・保育士資格両ライセンスの取得が可能です。保育のプロとしての保育者を養成することを目指して、資格関連科目を中心に、「こども学」を学ぶための科目が準備されています。

1 2年間の学びのイメージ



2 履修モデルと卒業後の進路

こども学専攻は、幼稚園や保育所などで活躍する「保育者」を目指す専攻です。卒業するのに必要な科目と、資格取得に関係する科目を履修していくと、卒業時に幼稚園教諭二種免許状・保育士資格が取得できるようにカリキュラムが作られています。

選択できる科目がそう多くないため、優先順位の高い科目を中心に履修することになりますが、卒業後の進路に合わせて、どの科目に重点を置くかで、自分なりの学びのスタイルを作ることができます。また、同じクラスや学年の人と、似たような時間割や科目の選択になりますが、その分、クラスや学年の結びつきが強くなります。

① 「こども学」を学ぶ

卒業必修科目や専攻必修科目は、「こども学」の基礎を作る科目で構成されています。これらの科目は必ず履修する必要があります。

「こども学」を学ぶ科目	キリスト教概論・人間学・総合人間科目群 こども学フィールドワークⅠ・Ⅱ、こども学概説、こども学研究 ビジネス文書演習、コンピュータ基礎演習、こども栄養学、こどもの保健、 こどもの健康と安全、保育の心理学、こどもと健康、こどもと人間関係、 幼児理解と教育相談、特別支援教育・保育、社会福祉、こども家庭福祉、 保育原理、保育者論、保育内容（表現）の指導法Ⅰ（リズムあそび）・保 育内容（表現）の指導法Ⅱ・Ⅲ（ピアノ表現Ⅰ・Ⅱ）・こどもと表現（造 形）
-------------	--

② 卒業後の進路から実習の選択を考える

幼稚園教諭二種免許状では、「幼稚園の先生」になることはできても、「保育所の先生」になることはできません。反対も同じです。また、平成27年以降増加している幼保連携型認定こども園の先生は「保育教諭」と呼ばれ、「保育教諭」になるためには両方の資格を持っていることが必要です。

現代社会では、幼稚園教諭二種免許状と保育士資格の両方を持っていることが求められる場面が多くなってきました。そのような意味では、まずは両資格を取ることを目指し、卒業後どこで働きたいかを考えて、実習を選択するのもよいかもしれません。

	幼稚園教諭	保育教諭	保育士（保育所）	保育士（施設）
	幼稚園で働く	こども園で働く	保育所で働く	施設で働く
	(幼) 二種免許状	(幼) 二種免許状 保育士資格	保育士資格	保育士資格
実習の選択	幼稚園教育実習指導Ⅰ 幼稚園教育実習Ⅰ 幼稚園教育実習指導Ⅱ 幼稚園教育実習Ⅱ	保育実習指導Ⅰ（保育所） 保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習指導Ⅱ（保育所） 保育実習Ⅱ（保育所）	保育実習指導Ⅰ（施設） 保育実習指導Ⅰ（施設） 保育実習指導Ⅲ（施設） 保育実習Ⅲ（施設）	

③ 得意分野を伸ばしたり、苦手な力を変える

こども学専攻のカリキュラムは、あまり選択できる科目はありませんが、2年次の後期に学びたいものを選択して学ぶことで、得意を活かしたり苦手な力を変えたりする機会を用意しています。「絵本が自分で作れる先生」、「音楽を取り入れるのが上手な先生」など、自分のなりたい先生像から科目を選択できます。

得意分野を生かす・ 苦手な力を変える	絵を描くのが好き・絵本が好き おたよりをパソコンで作りたい	児童文化財について学びたい ピアノで子どもと仲良くなりた
科目を選ぶ*	絵本の世界 保育とメディア	こども文学 ピアノ表現法

* 2科目程度履修することが望ましい。